

■ 「ICT地域活性化大賞2017」大賞／総務大臣賞 受賞事例

ICTを活用した市民協働で多様な子育てニーズと地域人材活用を両立 (株式会社AsMama (本社：神奈川県横浜市))

1. 目的と概略

少子高齢化による人口減少や労働力不足、人材や財源不足による保育問題、核家族化による子育てニーズの多様化や地域コミュニティの希薄化等、多くの自治体が抱える地域課題の支援と解消を目的とし、世界初の市民間共助による子育て支援ICTプラットフォーム「子育てシェア」を開発しています。子育てシェアの利用者には、登録料・手数料無料でサービス提供するかたわら、子育て世帯同士や子育て世帯が企業や地域団体と出逢える地域交流の機会を提供し、市民主導型で自立・自走する地域コミュニティの創生を実現しています。

2. 先進的な優良事例紹介

2. 1 事業概要

地域の顔見知り同士のみがつながり、子供の送迎や託児をお互いに気兼ねなく頼りあう事を実現したオンラインアプリ「子育てシェア」を開発。2013年にローンチ依頼、利用者からは登録料、手数料一切無料で提供しています。

また、各地域で主体的に子育てシェアの普及や、地域コミュニティづくりに取り組むAsMama認定活動家、通称「ママサポ」の募集、育成を行い、年間2000回の地域交流イベントを開催。

ICTとリアルの両輪で、市民間共助と地域人材の活躍支援を行う事で、社会課題解決と地域活性化を両立させています。

2. 2 コラム

① サービスイメージやシステム構成

「子育てシェア」は、スマートフォン、パソコンから会員登録し、必要情報を入力するだけで誰でも無料で利用が可能。ただし、通常のSNSとは異なり、登録者が、会員登録している誰かとシステム上だけでも繋がれるという事はなく、知人友人と繋がるためには、友達承認の際に相手の携帯電話番号の下4桁を入力しなければいけない、という認証を行う必要があります。リアルな顔見知りでない頼り合いが出来ない仕組みを取る事で、知人間共助のプラットフォームを実現しています。

助けてほしい!

まずは登録! 子育て仲間を招待

<https://kosodate-share.asmama.jp/>

普段つながりのある人たちで協力しあうってことね!



住んでいる地域や園・学校情報の登録で、自動的にグループを形成

お迎え間に合わない!
都合がいい人から連絡がくるので気がねいらず!

送りたい人にだけ送れて便利!

おやつ希望など、要望があれば**内容投稿欄**に記入しておこう!

ありがとうございます!

料金は**1時間¥500!**
交通費など実費が出た場合はその都度払えばいいのね!

コメント欄やメッセージでお礼を伝えておこう!

助かりました!

助けたい!

まずは登録!

ママサポーターへ応募

ママサポーターとは?
送迎や保育、集団保育体験など、子育て支援が出来て収入も得られます。ウェブサイト asmama.jp の「ママサポーターとは?」から応募してください。

支援できる**日時**や**内容**を積極的にアピール!
保育士などの資格があればチェックを忘れずに。

OK!
NG
NG

周りにお友達がいらないなどの場合は、**ママサポーター**へご依頼ください。

いえいえ今度私も!

ママサポーターや**有資格者**(保育士など)さんには**1時間¥600**もしくは**¥700**になります。

こんな時どうするの?

お子さんがけがをしてしまった!
相手から預かったものを壊してしまった!
与えた食事で食中毒をおこしてしまった!
などの場合は「**保険**」が適用されます。

★ポイント★

- 1.登録料・手数料無料。いつでもどこでも誰でも PC、またはスマートフォンひとつで利用可能。
- 2.万一の事故には、全支援者に最高5千万円までの賠償責任保険適用(日本初、当社負担)。
- 3.預ける一方でも使いやすい謝礼ルールを設定。1時間500円~ワンコインから利用可能。

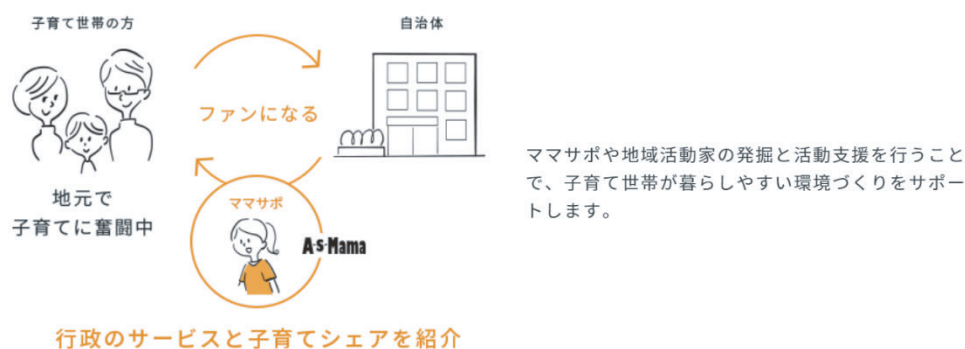
② 事業展開による効果・成果

各地で市民交流機会や、「子育てシェア」アプリの活用を広めるために、ママサポや地域コミュニティリーダーの発掘、育成を実施しています。

- ・主体的に「子育てシェア」の普及、コミュニティ創出に取り組むAsMama認定の地域活動家「ママサポ®」を全国に645名育成。
- ・ICTを活用した子育て共助プラットフォーム「子育てシェア」登録者数54,326人
- ・登録者による市民間共助での問題解決済案件数 18,744件、解決率(85%)

*2018年2月末現在

ママサポの主な役割は、①子育てシェアや自治体、企業の有益な情報の「広報活動」、②「多世代交流イベントの企画、主催」やAsMama主催イベントの運営、③「送迎・託児の担い手」、で、活動量に応じてAsMamaが活動奨励金やインセンティブを提供しています。ママサポは保育士等有資格者が4割おり、ママだけではなく、学生や男性、シニアもいます。



③ 事業展開ポイント

<独創性、先進性>

「地域交流事業」と「コミュニティ創生事業」というB to B事業からの収益で企業運営を実現。

「子育てシェア」からは一切、手数料、費用を得る事なく、システム開発費、保険費用、謝礼金支払時のクレジットカード手数料まで全てを当社で負担していますが、それらの費用はすべて企業や自治体からの事業収益によって成り立っています。

・地域交流事業

ママサポや地域団体とのネットワークを活かして、企業の集客や販促、マーケティングを支援している。

・コミュニティ創生事業

自治体や集合住宅内の住人同士の共助を図るため、敷地内で定期的な住人間交流機会をつくりながら、子育てシェアで互いをつなぎ、利用促進を担っている。予算負担は不動産会社や市民間協働を促す自治体で、3年から5年をかけて、住人からママサポを育て、自立自走するコミュニティ形成を目指す。

<自治体連携実績、及び住民・他団体との連携や協力>

ママサポの広報活動によってアプローチする数は、年間延べ500万世帯に上り、その確実にターゲットにアプローチができるネットワーク力が企業のPR支援として大きな魅力になっています。また、現在は個人としてのママサポ発掘・育成に留まらず、地域団体への助成や、ノウハウ提供を積極的に取り組むために「地域コラボ計画」と称する協力者の募集も始めました。

協定を締結等、公に協力関係を築いている自治体は、奈良県生駒市、秋田県湯沢市、富山県舟橋村、滋賀県大津市ですが、それ以外にも多くの自治体で、シンポジウム開催や、子育て支援ガイドでのサービス紹介など、子育てシェアの周知にご協力いただいています。

2. 3 サービス利用者の声

利用者からの「また利用したい」という声は91%と、リピート率も高いのが特徴。

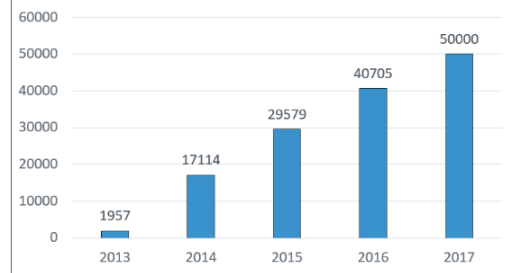
更に、利用により転職や再就職が実現したケースも44%と、女性就労率向上、地方地域の労働力不足解消にも貢献しています。

初回利用者向けアンケート



グラフエリア

累積登録者数



複数回利用者向けアンケート



4

2. 4 今後の課題と展開

今後の「子育てシェア」の展開については、ミドルシニアや、学生も地域のサポーターとして誘致を加速化させます。これまでも「子育てシェア」システムは、アジャイル方式にて週単位で開発・改修を行ってきましたが、今後は送迎・託児に限らず、人間関係を深化させるための仕組みを取り入れるなど大規模改修にも着手し始めました。

更には、日本在住の外国人の方を始め海外の日本人コミュニティへの導入も視野に、多言語対応を検討しており、ICTを活用した共助の輪を、分野、地域を超えたインフラとしてグローバルに展開出来るよう構築を進めます。

2. 5 導入費・維持経費

非公開

〔問い合わせ先〕

- ・団体 株式会社AsMama（アズママ）
経営管理・事業開発チーム 担当：田中
横浜市中区山下町73 アクティ横浜山下町1306号
- ・e-mail：leader@asmama.co.jp
- ・電話番号／045－263－6433